

花と緑のネットワーク通信



No. 10 (2011年6月1日発行)



札幌市役所前コンテナガーデンの植込みが完了しました！

4月にみなさんにお知らせした、札幌市役所前のコンテナガーデンの植込みを、タウンガーデナーが参加して行いましたので報告します。
(事務局：西)

4月18日（月）、コンテナガーデンづくりに参加されるさっぽろタウンガーデナー18名のみなさんが集まり、グループに分かれて植栽デザインを話し合いました。今回は、3種類のデザインのコンテナを2基ずつ作るということで、それぞれの個性あふれるデザインができあがりました。

曇り空ながら、暑からず寒からず作業のしやすい気候となった5月22日（日）、各コンテナに使用する苗を仕分けし、走川貴美さんの説明を受けた後、さっそく苗の植込み作業を行いました。

植栽図どおりに苗を並べてみたところ、苗の大きさが意外と大きかったり小さかったりして配置を調整したり、思っていた色と違うイメージのお花があったりしましたが、みなさん手際よく植込み作業をし、6基のコンテナができあがりました。

その後、コンテナの講評をしていただき、水やりのコツや、植込み直後の苗の高さの微調整の方法などを教わりました。



苗の植込み作業中

各コンテナは、まだ苗を植込んだばかりなので、葉の緑色が目立ちますが、これから苗が成長してきれいなお花が咲いてくるのがとても楽しみです。

このコンテナガーデンのプログラムは4月～10月まで8回にわたり行います。無事に苗を植え終わり、これからはメンテナンスや夏苗への植え替え、植物のリユース、片付けなどがあり、このコンテナとは長いおつきあいになります。

札幌市役所前コンテナガーデンは、タウンガーデナーの他に、AMAサポートーズ倶楽部、あるば・ローズ、ガーデニング リラの会、グリーンエプロンズ、豊平公園花とハーブの会、林業試験場も参加しています。近くにお越しの際は、ぜひ見にいらしてください。



走川さんの講義の様子



①②班デザインのコンテナ。③④班、⑤⑥班のデザインも素敵です♥

コンテナガーデンをつくりましょう♪

タウンガーデナーのみなさんの中でもコンテナづくりをされている方がいらっしゃると思いますが、今回の花と緑のネットワーク通信では、みなさんのご参考になればと、コンテナガーデンについて取り上げました。（事務局：西）

私も
作ってます

コンテナ

さっぽろタウンガーデナーのコンテナガーデン

棚瀬 洋子さん（東区）

春本番にはまだ少し遠い5月上旬、毎年素敵なお花を作っている棚瀬洋子さんにお話を伺いました。

17年前にお家を新築した当時は、ベゴニアやインパチェンスなどのお花がいっぱいの白いコンテナを通路にたくさん並べていました。その後5年位は自己流でしたが、教室に通ったり、お家の近くに好みに合うガーデニングのお店ができたりしたため、葉ものも使う現在のようなスタイルになったということです。

棚瀬さんは、「植物が、のびのびと元気良く育ってくれるのが、一番嬉しい」とおっしゃいます。コンテナを作るときは、好きなお花を買ってきてからデザイン



元気いっぱいに育ったゼラニウムのコンテナ

を考えるのだそうです。また、珍しい植物が好きで、ご自身はプラントハンターだとおっしゃいます。その植物がどんな環境が好きなのかがわからないときは、環境の違う2ヶ所くらいに分けて植えて様子をみます。同じ種類の植物でコンテナを作ると、性質が同じなので楽なのだそうです。

そして、銅葉のものや、コリウス等葉ものばかりで作るコンテナは、長く楽しめると、扱いやすいということです。お手入れも少なくてすみます。

「育てることが好きなので、前の年にコンテナに使った植物は、捨てることはしないで育てます」とおっしゃいます。お家の中には、愛情をたっぷり受けた植物たちが今年のコンテナに向けてスタンバイしています。

現在、お家の周囲を一回りできるようにお庭を改装していらっしゃいます。「ハンギングやコンテナを置く場所がたくさんあるので、今年は、風が通り抜けるようなイメージの、新しいお庭に合うようなものを作りたい」とおっしゃっていました。

※棚瀬さん作のコンテナは、「さっぽろ花と緑のネットワーク」のホームページにも掲載しています。トップページの画面右下のカレンダーの5月2日をクリックし、タイトル「八重桜の咲く頃」を再度クリックしてください。



棚瀬さんおすすめ♪葉ものばかりのコンテナ

お役立ち本
ご紹介

『寄せ植え作りに夢中！吉谷桂子のコンテナガーデン』

発行：主婦の友社 定価：1,580円（税込）

吉谷桂子さん作のセンスの良いコンテナがたくさん載っています。素材の選び方や色遣いなど、とても参考になります。



『花づくり&コンテナガーデニング』

発行：ブティック社 定価：1,050円（税込）

初心者向けの内容ですが、植込みの手順が写真で載っていたり、花材も写真付きでたくさん紹介されているので、コンテナ作成時に役立ちます。植栽例も豊富です。



お試し
ください

コンテナガーデンを美しく見せるヒント

コンテナ



* テーマ性をもたせた植物選び

自分でテーマ（季節、素材など）を決めて花材選びを行いましょう。花色もいくつかのパターンでテーマ性をもたせ、微妙な色彩感や質感を上手に使い分けることによって、お互いを引き立て合わせることができます。深みのある組み合わせができます。

* 季節感を大切に

季節のイメージの色合いと、植物のもっている花色や性質を上手に利用しましょう。旬の花材を季節に合わせて使いましょう。

* コンテナ（鉢）そのものの美しさ

鉢は、置く場所のイメージや色合いも考えて選びましょう。鉢も庭の表情に合わせることが大切です。鉢に合わせた寄せ植えのパターンもいろいろと考えてみましょう。

* 一体化した飾り方

まったく同じ植物の寄せ植えを、高低をつけたアイアン台に置いて立体的にしたり、ハンギングバスケットと床置きのコンテナでトータルに飾ってみましょう。

* 複数のコンテナを飾る（寄せ鉢）

コンテナを複数飾るときは、同じ大きさのコンテナを置くのではなく、大小さまざまな大きさのコンテナを高さの違いを活かして飾ってみましょう。この場合、鉢の種類（素材）は同じものにしましょう。

* バランスを大切に

コンテナに植え込むときは、植物同士の色や形・大きさ・伸び方などのバランスがとれていること、また、コンテナを配置するときは、全体のバランスを考えた効果的なレイアウトにすることが大切です。

ボランティア団体紹介 大学村の森を守る会



東区北 28 条東4丁目にある「大学村の森」は、近隣の小学校の子どもたちが伸び伸びと遊んだり、住民の方々がウォーキングを楽しむ憩いの場所です。ハルニレ、ハンノキ、クリなど、なじみの深い木々が背を高く伸ばし、春にはフクジュソウやニリンソウ、エゾエンゴサクなどの山野草が花を咲かせます。

明治期には札幌農学校（現北海道大学）の農場だったこの森は、以前は丈の高い草が繁茂する荒れた場所でした。隣接する北大官舎跡地などの国有地を札幌市が買い取り、約 0.9ha から約 1.8ha へと敷地面積を2倍に広げ、整備・保全することになったのは、「大学村の森を守る会」をはじめとする地域住民の方の熱意があったからです。

現在は山野草コーナーや修景ゾーンなどに区切られ、「大学村の森を守る会」の方々が数年かけてタネから育てたオオウバユリやシ



たくさんのオオウバユリ

ラネアオイが生き生きと育っています。腐葉土をつくるために落ち葉を森に残すようしてからは、土壌がふかふかになり、木々や草花の病気も減りました。

ここには北海道在来の山野草や樹木が育つ一方、ボケやサクランボ、ライラックなどの庭木が官舎だったころの面影を残し、自然の豊かさだけでなく、地域の歴史を伝える場所ともなっています。

「大学村の森を守る会」の方々はこの森を維持し育むために、ゴミ拾いなどの清掃はもちろん、他の植物を駆逐してしまうオオハナウドやイワミツバ、オオハンゴンソウなどの抜き取り、木柵の設置など多岐に渡る活動を毎朝6～7時に行っています。

1996 年から続く活動で、メンバーがだんだんと年齢を重ねてきました。日々の活動を担ったり、イベントを企画して「大学村の森」の大切さを伝えてくれる新しいメンバーを募集しています。関心のある方はぜひ一度訪ねてみてください。

（事務局：都築）



案内板の前で～代表の小笠原さん

■大学村の森を守る会（代表：小笠原 恵子さん）

TEL 011-741-3181

川下公園ボランティア「いらら」募集

川下公園では、ライラックの健全な育成・景観の向上や、川下公園で開催する環境教育事業のお手伝いをしてくださるボランティアの方々を募集しています。

■募集期間：6月12日（日）まで

■活動内容・予定日（10:00～15:00／お昼休み1時間）

- ・ライラック花がら摘み：6/20（月）～6/24（金）
- ・ラブアース・クリーンアップ in 北海道：6/24（金）
- ・サマーフェスティバル：7/23（土）～7/24（日）
- ・川下フェスタ：9/10（土）～9/11（日）
- ・スノーフェスティバル：1/11（水）～1/15（日）
- ・癒しの園芸プロジェクト：未定

※関心のある活動のみの参加でもかまいません。

※活動される方にはボランティア保険に加入していただきます。（保険料自己負担・年間300～500円程度）

■連絡先：川下公園 リラックスプラザ

TEL 011-879-5311



聞いて得するハーブ活用術

北の沢コミュニティガーデン「みんなの丘」の旬のハーブを収穫！ 見て、触れて、つくって、楽しむ教室です。

■日程・内容：6/13（月）ハーブビネガー

7/11（月）ハーブ生春巻き

※8月以降に開催される教室もあります。

■講師：狩野亜砂乃さん（ハーブコーディネーター）

■集合：12:50／旧道茶屋（南区川沿2条2丁目5-37）

■時間：13:00～14:30

■受講料：各回2,000円+材料費（300～500円程度）

■定員：15名（定員になり次第締め切ります。）

■連絡先：旧道茶屋（担当：辻村）

TEL 011-572-2220



【発行・編集】さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階
財団法人札幌市公園緑化協会内

TEL : 011-251-3309 FAX : 011-211-2577

E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

<http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>



「緑のカーテン」づくりを始めませんか

札幌市みどりの推進部では「緑のカーテン」づくりをすすめています。緑のカーテンとは、ツル性植物を窓の外に這わせてつくる植物のカーテンのことです。今年は市役所前にもゴーヤとホップを使った緑のカーテンを設置しています。みどりの推進部のホームページでは、緑のカーテンが育つ様子や、育て方やツル性植物を紹介した冊子をご覧になれます。みなさんもご家庭の窓辺や庭に緑のカーテンをつくり、夏を快適に過ごす工夫をしてみませんか。



■ホームページアドレス

（取組状況）

<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/curtain/index.html>

（冊子）

<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/book/curtainbook/index.html>

■冊子に関する問合せ先：

札幌市みどりの推進課 TEL 011-211-2522

掲載情報募集しています

イベント案内・ボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、事務局にお知らせください。

情報締切：奇数月15日（次月と次々月の情報を掲載）

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況

（2011年6月1日現在）

さっぽろタウンガーデナー（225名）

中央区	35名	北区	40名
西区	12名	東区	32名
豊平区	15名	南区	24名
白石区	7名	厚別区	22名
清田区	8名	手稲区	22名
その他	8名		

花と緑のボランティア団体（全25団体）

4月以降の新規登録団体

大学村の森を守る会

NPO法人シーズネット